

令和7年度都立杉並工科高校における教科指導の重点

教科	重点課題	取組	発展的取組
国語	社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付ける	・週1回漢字テストを実施 ・毎時間、本時の目標に対する自身の取組を振り返らせる ・ICT機器の効果的な使用方法を教科内で共有する	・進路活動に向け、作文や小論文作成の練習を段階的に行う ・漢字検定への取組 ・各種コンクール等への出品を促す
地理歴史	基礎基本的な内容の理解を深める 地理や歴史の見方・考え方を学ぶことを通して、よりよい社会を築いていく資質を養う	・基礎基本的な内容の定着 ・地理総合では教科書準拠ノートの活用 ・ICT機器など視覚的な教材の有用な活用 ・よりよく生きていくために主体的に学ぶ姿勢を養う取組	・書物やインターネットなどを利用して主体的に学び、課題を解決する ・発表などを通してプレゼンテーション能力を学ぶ
公民	基礎基本的な内容の理解を深める 現代の諸課題を解決する主体的な学びを通して、よりよい社会を築いていく資質を養う	・基礎基本的な内容の定着 ・ICT機器など視覚的な教材の有用な活用 ・よりよく生きていくために主体的に学ぶ姿勢を養う取組	・書物やインターネットなどを利用して主体的に学び、課題を解決する ・発表などを通してプレゼンテーション能力を学ぶ ・特進クラスでは、大学進学を意識した問題演習を取り入れる
数学	基礎基本的な知識・技能の習得	・課題の提示・提出を習慣化する ・小テスト等を定期的に実施し定着度の観測を行う	・生徒同士で問題を出したり解いたりする学び合いを、授業時間内に設定する
理科	「探究の過程」を踏まえた学習活動の充実	・中学校での既習内容を振り返りながら、進めていく ・一人一台端末を活用して小テストを実施し、生徒自身が学習到達度を把握できるようにする	・身近な科学に興味を持ち、学習内容と関連付けて考える ・実験を通して、思考力やレポートのまとめ方を学習
保健体育	ルールやマナーを大切にし相手を尊重した取り組みができる	・規範意識を持ち、公正な態度で主体的に取り組ませるよう指導する	・さらに高いレベルで活動できるよう指導する
音楽	段階的な学習活動による、体系的な理解を育てる	・目的意識を持った技能習得を目指す ・教科書、プリント類、インターネットを活用し、知識体系を強化する	・生徒一人一人の個人的興味から何を学習するのか、目標を引き出す。それらを全員にフィードバックすることにより、話し合い活動、知識シェアを充実させ、学習活動に面白みを持たせる
美術	造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と関わる力の育成	・自身の骨格を知る ・イラストや書体の歴史について学ぶ ・立体的な構造を理解する	・人の頭蓋をベースに自画像を描く ・画材の特性を理解した上で、ボールペンで白黒イラストを描く ・カリグラフィーによる作品の制作 ・歴史的建造物や多面体をペーパークラフトで組み立てる
外国語	4技能の指導の充実	・英文法の基礎基本を確実に習得させる指導 ・英文の読解力を養う指導 ・単語帳を用いた英単語学習の指導 ・ペアワークを積極的に取り入れた英文の音読指導	・スピーチテストなどを通した、英語によるプレゼンテーション力を養う指導 ・外国人講師の活用による、英語での発話に慣れる指導

令和7年度都立杉並工科高校における教科指導の重点

教科	重点課題	取組	発展的取組
家庭	基礎的な知識と技能を定着させる学習活動の充実	・学習内容を精選し、実践的・体験的な学習活動を充実させる ・「本時の学習目標」に対する取り組みを生徒自身が評価する「振り返り」を行うことで、学習内容の定着と意欲の喚起につなげる	・授業での学びをもとに、生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を振り返り、考察したことを論理的に表現する課題を計画し、実践する
機械	「探究の過程」を踏まえた学習活動の充実	・自ら課題を発見し、課題解決のための年間のスケジュール管理を行う ・課題に対して探究を行っていき、文化祭や学内の発表会で研究結果を報告する	・探究活動を振り返り考察を深め、改善点を見つけ出す ・拠点校実習や高大連携実習の経験から、スキルアップを目指す
電子	電子・情報・通信に関する基礎的な知識と技術を習得し、主体的に学ぶ意欲を育成する	・実習を通して社会人として必要な、マナー・礼儀・表現力・基本的な生活習慣を身に付ける ・3年間の学習の集大成として課題研究発表会を実施する	・各種、電子・情報に関連する資格検定試験取得に取り組む ・幅広い分野を学ぶことにより、就職・進学などの次の進路への選択肢を増やす
理工環境	化学やバイオ、環境問題に関する知識・分析技術と環境リテラシーの習得	・危険物取扱者、初級バイオ技術者などの資格指導を行う ・実習において化学分析やバイオ操作、環境分析技術を習得させ、課題研究や研究発表を行わせる	・化学系をはじめとする各種資格取得を目指した指導を行う ・課題研究で環境問題の解決につながるテーマの研究・発表を指導する
IT・環境	「情報技術」を活用するための指導の充実 情報化社会及び環境についての課題解決に向けた指導の充実	・座学においては、電気・電子に関する基礎的・基本的な知識の定着を図る ・情報に関わる授業では実際の情報端末の操作に習熟させるとともに、大学入試共通テスト「情報」に向けた対策を行う ・実習科目においては、電気・電子・情報・環境の幅広い分野について取り扱い、ITや環境に関わる技術を総合的に体験する	・幅広い分野を学ぶことにより、進路の選択肢を増やす ・2年次及び3年次の課題研究(総合的な探究の時間の代替)において、課題解決に向けた実践的な知識・技能を身に付ける ・ITパスポート受験に向けて、オンライン教材等を活用して幅広い知識、技術を身に付ける